

2026年度「医療・ヘルスケア開発実証補助事業」（札幌市補助事業）補助金交付決定事業者一覧

No.	事業名称 および 事業概要	企業・団体名
1	医療・介護向け口腔ケア製品処方開発実証事業 当社独自のレクチン抽出・配合技術を活用し、医療・介護現場の口腔衛生管理ニーズに対応した口腔ケア製品「おロキレイ by カラダキレイ」を開発する。口腔内の汚れを除去しやすい洗浄機能と粘膜保護性を備えた新規処方を設計し、医療機関等での実使用評価を通じて、医療・介護現場での使用適合性及び実用性を検証する。	<u>株式会社アビサル・ジャパン</u>
2	AI 姿勢推定を用いた関節可動域の計測・管理アプリの開発実証実験 医療機関への「デジタル装具手帳」の導入を通じて、患者の動作動画を安全に記録・管理し、評価や経過確認に活用したいというニーズを把握した。そこで本事業では、AI 姿勢推定により、8 項目の関節可動域や姿勢角度を簡単に記録・管理でき、個人情報保護の観点にも対応したアプリを開発し、医療現場での有用性を検証する。	<u>有限会社テックワークス</u>
3	低価格「手術機器トレーサビリティシステム」の開発 大型病院の手術室では、機器の所在確認に追われる現場を、BLE と AI で自動追跡する次世代システムで刷新します。電子カルテ普及が進む今、患者安全や業務効率化、規制遵守の観点からトレーサビリティは必須となり、その実現を力強く後押しするシステムを医療の現場と協力して開発します。	<u>ボーダレス・ビジョン株式会社</u>
4	個別化医療対応強化学習 AI による連続血圧推定方式の開発評価 仮想センサはリストバンドで睡眠、無呼吸、感情、ストレスの連続測定が可能。今回、個人毎の AI モデルを蓄積する PHR 連動による強化学習 AI の採用により、従来の脈波血圧測定で困難とされていた個人差、環境差を反映した高精度血圧測定を開発し、睡眠/日中の患者メンタル・バイタル非侵襲連続モニタ方式を開発し効果を検証。	<u>株式会社ミルウス</u>
5	日本語医療音声認識 AI「MedVoice-JP」開発実証 医療現場の記録負担を軽減する日本語・医療特化の音声認識 AI と評価基盤を開発する。汎用 AI は医療用語の約 3/4 を誤認するが、医療者の音声で特化学習し誤りを大幅に低減できることを実証済み。協力医療機関で文字起こし精度を実証し、カルテ作成支援への事業化と国内初の医療 ASR 評価基盤の公開を目指す。	<u>Wonder Drill 株式会社</u>

※五十音順

- ◆応募件数 9 件
- ◆採択件数 5 件
- ◆補助金総額 4,951 千円